

いしおか

市議会だより



一般質問

18人が登壇

5~10ページ

議案質疑

11ページ

第1回臨時会

第2回定例会

議員報酬減額・
感染症対策予算など
原案可決

2~4ページ

請願・陳情の概要と結果
常任委員会の活動

4ページ

12ページ

第75号

ぎかい
広報紙

令和2年9月1日発行

議員提出議案

報酬3か月減額案を可決

5月19日に開催した令和2年第1回臨時会は、議員12名による招集請求に基づき招集されました。議員提出議案として議員報酬等に関する条例の臨時特例に関する条例が提出されたほか、国の新型コロナウイルス感染症対策等に係る各会計補正予算、市長等の給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例など、市長から12議案が提出されました。

●議員からの招集請求により臨時会を開催

議会の招集は市長の権限ですが、一方で、議長または議員定数の4分の1以上の者から、会議に付すべき事件を示して長に対して臨時会の招集請求をすることができるとされています。

この規定に基づき、「石岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の臨時特例に関する条例」を審議するため、5月1日付けで議員12名が市長に対して招集請求書を提出しました。

●議員報酬

3か月減額を提案

岡野孝男議員ほか18名の議員から、議員提出議案第1号「石岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の臨時特例に関する条例」が提案されました。

この臨時特例は、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた市民生活や市内経済を支援する予算を確保するため、6月から8月までの間、議員報酬月額10%を減額するものです。質疑・討論ののち、全会一致で可決されました。

●一般会計補正予算など

感染症対策関連予算

提出された議案のうち、議案第42号から第44号は新型コロナウイルス感染症対策に係る予算です。

議案第42号は、5月1日付けで専決処分された、国民1人当たり10万円を給付する特別定額給付金給付事業に係る予算について、議会の承認を求めたものです。議案第43号「一般会計補正予算（第3号）」は、1億5337万5000円を追加し、歳入歳出の総額を422億3634万8000円とするもので、歳出の主な内容として、民生費では、子育て

世帯支援のための子育て世帯臨時特別給付金給付事業8585万3000円の増。衛生費では、妊産婦等配布用のマスク購入経費など、保健衛生一般事務費527万4000円の増などです。

今回市長から提出された議案は、本会議で採決の結果、いずれも原案のとおり可決（承認）しました。

新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算（77億2,584万5千円）のうち主なもの

- ・特別定額給付金給付事業…………… 75億6,726万1千円
- ・ひとり親家庭臨時給付金…………… 700万円
- ・子育て世帯臨時特別給付金給付事業…………… 8,585万3千円
- ・保健衛生一般事務費…………… 527万4千円
- ・傷病手当金（国民健康保険）…………… 520万9千円

議案の審議結果

議案番号	議案名	結果
議員提出議案第1号	石岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第38号	専決処分に対し承認を求めることについて(令和2年度石岡市一般会計補正予算(第1号))	承認
議案第39号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第40号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第41号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第42号	専決処分に対し承認を求めることについて(令和2年度石岡市一般会計補正予算(第2号))	承認
議案第43号	令和2年度石岡市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第44号	令和2年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第45号	石岡市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第46号	石岡市税条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第47号	石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第48号	石岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第49号	石岡市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決

※賛否の分かれた議案はありません。
 <<会議の欠席状況>> 欠席者なし

感染症対策など3億円増

補正予算を可決

6月2日から18日に開催した令和2年第2回定例会では、令和2年度石岡市一般会計補正予算や石岡消防署愛郷橋出張所新築工事に係る工事請負契約の締結など、市長から13議案が提出されました。

●新市長が所信を表明●

就任後初の定例会に当たり、谷島市長から市政運営に関する所信が表明されました。

「共生・共育・共働のまちづくり」をキーワードとして、市民一人ひとりの夢や希望に寄り添い、つないでいくことにより「夢のある石岡」、子どもたちが「夢を描け



る石岡」づくりに向け全力を尽くしていくこと、

また、政策の基本方針として、都市基盤の整備、産業・経済の活性化、生活環境の充実、消防・防災体制の充実、健康・福祉の充実、教育・文化の充実、行政運営・経営の7つを掲げ、これに加えて地域医療の課題について、石岡地域医療計画を踏まえた上で論点を整理し、ポイントを明確にして前向きな議論を重ねていきたいことなどが述べられました。

●一般会計補正予算 総額3億円を計上●

議案第50号一般会計補正予算(第4号)は、2億3081万7000円を追加し、歳入歳出の総

額を424億6716万5000円とするものです。

歳出の主な内容として、商工費では、ふれあいの森リニューアル整備事業に伴い指定管理料を増額する、ふれあいの森管理運営費2273万8000円の増など。

また、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算として、民生費では、特別児童扶養手当受給者に対し市独自で障がい児家庭臨時給付金を支給する、心身障害児福祉事業120万円の増。商工費では、業績の悪化した中小企業等に補助金を交付する中小企業緊急支援事業補助金を計上する、商工振興事業6266万円の増などです。

議案第62号一般会計補

正予算(第5号)は、7587万4000円を追加し、歳入歳出の総額を425億4303万9000円とするものです。歳出の内容は、商工費では、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算として、持続化給付金の対象とならない中小企業等に対し中小企業等事業継続給付金を給付する、商工振興事業7846万9000円の増などです。

新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算 (1億5,975万1千円) のうち主なもの

- 障がい児家庭臨時給付金 120万円
- 保健衛生一般事務費 1,590万8千円 (備蓄用マスク・非接触型体温計等購入)
- 商工振興事業 1億4,112万9千円 (プレミアム付商品券・中小企業緊急支援事業補助金等に係る経費)

●上曽トンネル整備事業●

議案第60号は、市道B3760号線道路整備事業(上曽トンネル整備事業)の委託契約を締結するもので、契約の相手方は茨城県、契約金額は10億円です。今年度は、トンネル本体工事、水質検査等を予定しています。

●愛郷橋出張所新築工事●

議案第61号は、石岡消防署愛郷橋出張所新築工事の工事請負契約を締結するもので、契約金額は2億3518万円、契約の相手方は株式会社松永工務店です。工期は、令和3年2月までの約8か月を予定しています。

今回市長から提出された議案は、各委員会に付託して審査を行いました。本会議で採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

※採決の結果は次ページ

永年勤続表彰

このたび、3人の議員が地方自治の伸長発展と市政の向上に貢献した功績に対して贈られる永年勤続議員表彰を受賞しました。



勤続15年表彰
全国市議会議長会
茨城県市議会議長会

岡野 孝男



勤続10年表彰
全国市議会議長会

村上 泰道



勤続10年表彰
全国市議会議長会

山本 進

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。
石岡市議会を検索するか、右のQRコードを読み込んでください。

石岡市議会



議案の審議結果

※色付き部分は賛否が分かれた議案です。

議案番号	議案名	結果
議案第50号	令和2年度石岡市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第51号	令和2年度石岡市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第52号	石岡市監査委員条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第53号	石岡市手数料条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第54号	石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第55号	石岡市介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第56号	石岡市国民宿舍つくばね条例を廃止する条例を制定することについて	原案可決
議案第57号	石岡市下水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第58号	石岡市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第59号	「指定管理者の指定について」の一部変更について(石岡市国民宿舍つくばね)	原案可決
議案第60号	工事委託契約の締結について(令和2年度市道B3760号線道路整備事業)	原案可決
議案第61号	工事請負契約の締結について(石岡消防署愛郷橋出張所新築工事)	原案可決
議案第62号	令和2年度石岡市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

議員の賛否

※賛否が分かれた議案の議決結果は、次のとおりです。

議案名	議員名	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	大和田 寛樹	川井 幸一	櫻井 茂	石橋 保卓	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	村上 泰道	関口 忠男	櫻井 信幸	菱沼 和幸	岡野 孝男	徳増 千尋	高野 要	鈴木 行雄	結果	
議案第60号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は退席等
※議長は、採決に加わりません。

請願&陳情

陳情の内容	付託委員会	審議結果
<p>※第2回定例会で議題とした陳情の結果は、次のとおりです。</p> <p>陳情第6 信号機の設置を求める陳情</p> <p>【陳情の要旨】 上曾地内の市道B3755号線とフルーツライン、県道石岡筑西線が交差する2か所の交差点は、道路整備により交通量が増加しており、車両が十分な一時停止を行わずに交差点に進入する危険性があることから、安全な交差点を確保するため、信号機の設置を警察に要請するよう求める。</p> <p>【委員長報告の要旨】 現況を確認するため現地調査を実施しました。その後の審査では、「執行部の対応や警察との協議の経過について伺いたい」との質問に対し、石岡警察署長へ要望を提出し、その後、石岡警察署長からの依頼に基づき交差点内へ破線を設置する対応を行い、その他の対応も検討中であることなどの答弁があり、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。</p> <p>【委員会での審査結果】 採択とすべきもの</p>	教育福祉環境委員会	採 択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で採決をし、議会としての意思決定をした結果です。
《会議の欠席状況》 欠席者なし

令和2年

第3回石岡市議会定例会のお知らせ

第3回石岡市議会定例会は、この日程で開催する予定です。

なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎1階ロビー、八郷総合支所1階ロビーで中継を行うとともに、インターネットによる映像配信を行っています。

※石岡市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴にあたってマスクの着用及びアルコール消毒などをお願いしています。

月 日	曜	主な内容	場 所	放映
9月 1日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
7日	月	一般質問	//	//
8日	火	一般質問	//	//
9日	水	一般質問	//	//
10日	木	議案質疑	//	//
11日	金	教育福祉環境委員会	委員会室	無
14日	月	総務委員会	//	//
15日	火	経済建設消防委員会	//	//
16日	水	議会運営委員会	全員協議会室	//
17日	木	議案の採決など	本会議場	有

市発注工事及び物品納入などの業者選定及び条件

地元企業の育成を進めるべき



ひと やす 康 木 鈴



動画

問 市発注工事などにおける市内業者と市外業者の落札比率を伺います。次に、指名条件などの告知で、業者選定が市外業者ばかりという物件が見受けられますが、市内業者を選定することに不具合があるのか伺います。また、工事等を実施する際、入札条件に適していれば実績については問わないのか伺います。

答 令和元年度は入札件数が307件あり、落札比率は市内業者が73・6パーセント、市外業者が26・4パーセントです。市では市内業者を優先に選定して

いますが、工事の種類により、市内業者の中で業種の登録がない場合に市外業者を選定しているケースがあります。実績については、1800万円以下の工事であれば出来高を求めない対応をしています。

地元企業の育成は、地域産業経済の活性化を図る上でも重要であると認識しています。入札は公正、厳正な競争性を確保した上で、市内業者育成という観点も考慮しつつ運用を行っていると考えています。

その他の質問事項

●市長の市政運営に対する所信 ●市内小中学校のICT環境整備事業の現状と運用状況

公共施設等総合管理計画と個別施設計画

市民会館の危険性の除去を



動画



たか 保 橋 石

に隣接しているもの、地下駐車場などに立ち入ることができ、小学校に隣接している状況から、児童生徒の安全を考慮して完全に困り出さず、入りにくい状況を防ぐ対策が必要だと考えます。また、施設の老朽化などによる危険性の

問 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の進捗状況と、計画変更の可能性について伺います。

答 計画に基づき、市民会館が令和2年3月末で閉館となりましたが、敷地内にロープやバリアードが設置されているもの、地下駐車場などに立ち入ることができ、小学校に隣接している状況から、児童生徒の安全を考慮して完全に困り出さず、入りにくい状況を防ぐ対策が必要だと考えます。

除去の観点から早急な取り壊しが必要と考えますが見解を伺います。

答 個別施設計画は令和元年度に全ての策定を完了し、22施設、累計24の各事業計画をベースに予算計上し進捗管理を行っています。計画変更の可能性については、まちづくりの視点や有利な財源確保の観点から、例えば複数施設が統合する多機能型の施設の検討等、協議の進捗状況によってあり得ると考えています。

市民会館の取り壊し時期は現時点で決定していませんが、今後、取り壊し時期やその後の利活用のあり方について検討していきます。当面の安全措置については、現在行っている建物の24時間警備や火災報知器及びバリアードの設置のほか、事件事故防止を最優先に対応を図っていきます。

その他の質問事項

●市政運営に関する所信と選挙公約

新型コロナウイルス感染症対策

小中学校の対応と市内経済対策



ひろ 樹 大和田



動画

問 小中学校の対応について、新型コロナウイルスの第2波に備えたオンライン授業の準備、整備が早急に必要となります。そこで、eラーニングを活用したGIGAスクール構想の今後の取組について伺います。また、8月17日から8月31日の授業期間中も給食の提供をしてほしいという保護者の声がありますが、対応について伺います。

答 ICTを活用し、災害や感染症などの発生により学校が休業されるなどの緊急時においても全児童生徒の学びの保障を目指します。今後の取組としては、タブレット端末を全児童生徒分と予備分などを合わせて5344台導入する計画を検討中です。給食については、8月中に施設の大規模な修繕やメンテナンスを予定していることなどから、提供が難しい状況です。

次に、経済対策や住民生活支援のため、国において地方創生臨時交付金が創設されましたが、地域経済活動の回復に向け、この交付金を活用して行う石岡市独自の支援策について伺います。

市独自の経済対策としては、事業継続の取組を行う事業者等を支援するため、中小企業緊急支援事業補助金や中小企業等事業継続給付金を創設します。さらに、市内工業の消費喚起を促すため、第2弾のプレミアム付商品券を発行し、市内地域経済全体の活性化を図っていきます。

人口減少対策

定住につながる支援策を



動画



ゆき たか むら かつ 勝 村 孝 行

問 少子高齢化が進む中、特に人口を増やす施策が急務です。当市では、婚活パーティー等の場を企画し、結婚につながる方もいると聞いていますが、これまでの事業の内容と実績について伺います。

私は、若い人が定住する魅力あるまちづくりのための支援策として、結婚し子どもを育てやすい環境を提供していくために、戸建ての住宅を建て、一定期間提供するような施策を展開してはどうかと考えます。これにより、UIターン者の動きも期待できますので、ぜひこういった市独自の施策を講じていただければと提案しますが、考えを伺います。

答 当市では、いばらき出会いサポートセンターの入会登録料の一部を市で補助し、昨年度は12名が利用しています。また、石岡地方結婚相談所運営協議会と連携して婚活パーティーを後援し、昨年度は2回の開催で59名が参加、10組のマッチングがありました。また、親世代を対象とした講演会には82名の申し込みがあり、好評をいただいています。

定住促進の支援策としては、通勤・通学費用助成制度や子育て世帯及び新婚世帯新生活補助金、木の住まい助成事業などを実施していますが、ご提案の支援については検討していきたいと思えます。

その他の質問事項

- 市政運営に関する所信
- 石岡つくばねマラソン



あかね 新 田 茜

問 子育て応援プロジェクトの目玉施策として実施されてきた第3子以降の小学校給食費の無料化事業について、その対象範囲や条件、利用者の反応について伺います。

私は、第3子以降の小中学生の子どもがいる全ての世帯が利用できるよう、現在対象外である別の特別支援学校や市外、私立の学校に通う子どもにも範囲を拡大すべきと考えます。他の自治体では、在籍する学校が発行する学校給食費等の受領証明書を添付した請求書の提出により、給食費相当額の支給を行う事業



動画

やクーポン券を発行して助成するといった動きも見られます。石岡市における今後の取組について、見解を伺います。

答 事業の対象は、市内在住かつ石岡市立小学校に在籍している第3子以降の児童と生計を同じくしている保護者で、過年度分の税や各種料金に未納がないことを条件としています。子育ての負担軽減の取組として好評をいただいていると感じています。

この事業は市の規則に基づくものであるため、市外や県の教育機関に適用することは難しく、給食費の納入状況の確認も困難であるという状況ですが、ご指摘いただいた他自治体の事例等も調査し、子育て環境の向上に資するよう検討していきます。

その他の質問事項

- 石岡市中学校総合体育大会

土砂等による土地の埋立て等 栄松地内の埋立て等への対応は



動画



おの たか お 野 孝 男 岡

問 栄松地内の埋立て等の経過と現状について伺います。この埋立て場所はほかと違い、トラックが土砂運搬の際に生活道路を通行しているため、道路がかなり傷んでいます。市はどのように対処するのか伺います。

令和2年4月1日から、土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例をより厳しい内容へ改正しましたが、埋立て等の不法投棄は増加する一方です。取締り強化へどのような姿勢で臨むのか、市長の見解を伺います。

答 栄松地内の土地の埋立ては平成30年7月から開始され、これまで生活環境課、農業委員会、石岡警

察署、県廃棄物対策課が何度も指導や除去命令等を行っていますが。行為者からは現在、条例に沿った手続を行うための書類作成を進めていると報告を受けています。道路の損傷は土地所有者へ補修を指示していますが、改善が見られない場合は文書等による指示をすることも、原因者の負担金による市の工事も考慮し対応していきます。

不法残土を持ち込ませないことは安全安心な生活環境の充実を図る上で肝要であり、住民一人一人の「地域の安全は地域で守る」意識の下、市民全体で力を合わせて、地域づくりを目指していきたいと考えています。悪質な業者には、断固とした対応をしていきます。

その他の質問事項

- 国指定史跡「瓦塚薬跡」の有効活用

新型コロナウイルス感染症 対策

事業者に寄り添った施策を



すすむ 進
もと本 山



動画

問 新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、県内では多くの自治体が、いち早く思い切った

様々な独自支援策を打ち出し、さらに第2弾、第3弾の拡大策まで打ち出している自治体もあります。本市でも、5月臨時会までにはもつと思いついた経済支援策が提案されるかと思っていました。残念ながら期待外れの感は否めません。今期定例会に提出された支援策は十分に協議を重ね作られたものと思えますが、事業者に届かない部分があると思えます。もつと思いやりのある、事業者に寄り添った施策について、市長の考えを伺います。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者等に対し、様々な目的の下、国や県の支援が行われています。他自治体においても、独自の支援策が行われていることと認識しています。

このような中、市としても事業継続のための中小企業緊急支援事業補助金を創設し、感染症予防のための事業やテイクアウト事業の導入、ネット販売の構築を支援するなど、早急に進めなければならぬことはもとより、中長期的な課題にも真摯に向き合い、将来を見据えた持続可能な地域経済の構築に、先頭に立って取り組んでいきたいと思っています。



石岡市の商業、小規模の自営業

市長の商店、企業に対する構想は

失うことがないよう、今のうちに手を打つ必要があり



動画



ひろ尋 ち千 ます増 徳

ります。市長の商店、企業に対する構想を伺います。

答 商業、小規模自営業者を育成・支援することは、市内の就業機会を増やし、若年層の転出抑制、働く世代の転入促進にもつながるため、石岡商工会議所や石岡市八郷商工会と連携し、しっかりと支援に取り組んでいきます。現在の新型コロナウイルス感染症による厳しい経済情勢の中、特にアフターコロナという先を見据えた、新たな商業ややる気の芽を育てていきたいと思っています。市では今年度より新たに創業支援事業補助金を創設し、支援をしています。大きな企業の誘致だけでなく、ベンチャー企業など新しい生活様式の企業も育成したいと考えています。

その他の質問事項
SDGsの取組

避難所運営

新型コロナウイルス対策の徹底を



み由美 よし造 たま玉



動画

問 現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、三密(密集・密接・密閉)を避け、マスクの着用、小まめな手洗い、人との間隔は最低1メートル空けるなど、新しい生活様式が公表されています。その状況下で台風や地震などの様々な災害が発生した場合、これまでと同様の避難所運営では、感染拡大を引き起こすおそれがあります。新しい生活様式を取り入れた避難所運営が求められる今、分散避難や備蓄品の追加、避難所での生活など、避難所運営の総点検や見直しについて伺います。

避難所運営には、三密を避けることが大変重要であると認識しています。過密状態になることを防ぐため、親戚や友人の家などへの避難について検討をお願いするとともに、分散避難についても、小中学校の体育館などの施設や民間施設などの利用等、各方面への協力依頼を行いたいと考えています。

また、必要な備蓄品については、マスク、消毒液、使い捨てゴム手袋、非接触型体温計を一定数確保したところですが、適宜追加していく予定です。国の指針に基づき、引き続き見直しを行い、市民が安全かつ安心して避難できる避難所運営に努めます。

その他の質問事項
市民の健康長寿

答 新型コロナウイルス感染症を予防するための

駅前・東ノ辻線の茨城空港アクセス道路までの延伸

空港アクセスの玄関口になり得る



動画



たかの野 かなめ 要

問 茨城空港アクセス道路は、石岡小美玉スマーナーCと茨城空港を結ぶ幹線道路として整備されていますが、駅前・東ノ辻線はこの茨城空港アクセス道路へ延伸することで、本市が空港へのアクセスの玄関口にもなり、さらに東大橋地区から柏原工業団地までの一帯が新たな企業進出エリアともなり得ると考えます。このような市発展の材料を見逃す手はありません。

答 今年度予算計上した駅前・東ノ辻線延伸調査委託料は、当該路線を延伸させることによる事業効果や、石岡市周辺の交通体系及びネットワークのシミュレーションを行っていくものです。調査結果をもとに、具体的なルート等の検討を実施していきたいと考えます。財源については、今後計画を策定する中で、事業規模等を考慮しながら詳細に検討していきます。

茨城空港アクセス道路への延伸は、広域的に見て大変魅力があるものがあり、都市基盤整備においても重要であると考えますので、まずは効果的な路線ルートの調査検討を行ってまいります。

●その他の質問事項
●地域医療計画に対する市長の認識



おの ちの たく 忠 誠

問 合併特例債を活用した幹線道路整備は、これまで事業化路線を短くしたり、事業を追加したりしていますが、合併協議会の中で決まった最初の全路線を進めていくべきだと思えます。当初予定した上林・上曾線は林地区、柿岡地区、葦穂地区で路線を整備しようという



動画

合併特例債活用事業
—— 上林・上曾線の一体的な整備を

ことで出た路線なので、柿岡、葦穂だけではなく、林も交えて一体的に造るべきです。(仮称)上曾トンネルがいよいよ実現し、上林・上曾線は大変重要な路線になります。路線を繋ぎ、交通の便を良くするべきと考

●その他の質問事項
●消防行政

えませんが、残りの区間についてどのように進めていくのか伺います。

答 上林・上曾線は(仮称)上曾トンネルへのアクセス道路として、県西部地区と石岡市を結ぶ重要な路線であり、また、八郷中学校へ通う生徒の通学路としての安全性の確保、八郷地域中心市街地の狭あい区間の交通の緩和等、観光面や経済面からも大変重要な路線であると認識しています。

現在進めている優先整備区間の事業量が残り約3割以下であることから、残る区間1・7キロメートルについても来年度以降に事業化し、合併特例債の活用について、庁内調整及び議会への説明を行い、また、国の補助金・交付金を活用するため県と調整を進めていきます。

豚熱予防対策

CSF(豚熱)感染拡大防止への対応は



動画



さくらの 井 茂

が、見解を伺います。

問 CSF(豚熱)の感染拡大防止については、令和元年第4回定例会で質問した際、CSFに感染した野生イノシシが豚舎等へ接近するのを防止する防護柵設置の補助、あるいは経口ワクチンの散布に取り組んでいると答弁がありました。これらの進捗とあわせ、2月から取り組まれているCSFワクチンの接種について、市ではどのような手法、体制で実施し、その経費負担はどのようになっているか伺います。

また、今後進められるワクチン接種が有料となった場合、畜産農家にとって大きな負担となります。市でも独自の支援策を検討すべきと考えます。

答 防護柵設置の対象は市内25事業者あり、16事業者が事業を要望、残り9事業者のうち4事業者がすでに施工済み、3事業者は自主施工を予定、2事業者は廃業予定です。

経口ワクチンは県や猟友会と連携して1200個を散布し、イノシシの接触があつたと思われるワクチン数は863個となっています。CSFのワクチン接種は、家畜防疫員に任命された獣医師資格を持つ県職員と民間獣医師で行っており、費用は初回の全頭接種分が無料、2回目以降は自己負担となることから、県への現支援策の拡大要請や、市独自の新たな支援策も検討していきます。

●その他の質問事項
●市政運営に関する所信
●フレイル予防対策

石岡駅周辺整備事業

整備計画と民間活用の方策は



動画



谷田川 やすし 泰

問 石岡駅周辺整備事業は、駅の橋上化や東西自由通路の整備等は済んだものの、石岡の顔、コンパクトシティとしての整備はまだまだこれからです。税収面も厳しい中、事業の選択と集中が求められます。そこで、事業の現在の状況と全体の整備計画について伺います。また、東口の鹿島鉄道跡地の利活用に民間を活用するとしています。また、全体計画の中でどのような整備を考え、どう進めていくのか伺います。さらに、市長の駅周辺整備に対する考えを伺います。

路が暫定形で供用開始しており、今年度はロータリー前道路の完成に向けて用地の取得を進めているところ。また、第2期計画について調査測量を進め、終了次第、全体スケジュールを示していく考えです。

民間活用の取組については、PFI方式等の検討をし、公共施設のみでなく民間事業所等も視野に入れて駅前の活性化を図りたいと考えています。

駅周辺整備は都市基盤の整備に大変重要な役割を果たしており、整備によりにぎわいの創出や地域経済の活性化につながると考えますので、西口・東口が一体となるよう早急な整備を進めていく考えです。

答 現在の状況としては、橋上駅舎等が完成し、西口ロータリー前道

その他の質問事項

● 駅前・東ノ辻線整備事業

教育行政

—— スクールソーシャルワーカーの早期導入



動画



道 泰 やすみ 村 上 泰

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、教育行政への影響、とりわけ子どもたちへの心の問題については、しっかりと配慮が必要。これまで心理的ケアが中心だったスクールカウンセラー制度に加え、子どもを取り巻く環境に働きかけをし、教職員とともに働くコーディネーターであるスクールソーシャルワーカーの早期導入について、市でも県の制度を活用し導入する

と聞いています。県の制度利用にあたっては、運用までに時間を要するデメリットがあります。ぜひ新年度を待たず、強い

リーダーシップをもってこの制度導入を進めていただきたいと思いますが、見解を伺います。

答 学校を子どもたちにとって安心して過ごせる環境とするには、子どもたち自身が大切にされていると実感できることが不可欠だと思います。スクールソーシャルワーカーが、子どもを軸とし、学校というコミュニティの活性化に向け活動することは、子どもの健全育成に資するもので、ひいては地域全体に活力をもたらすと認識しています。

今年度は県の事業を最大限活用したいと考えますが、長期間にわたる支援の必要性という観点から、効果的な活用方法などを含め制度設計し、市独自のスクールソーシャルワーカー導入を検討していきます。

その他の質問事項

● 市長の市政運営に対する所信

学校再開後の対応

市民に寄り添う行政のあり方



動画



川 井 幸 一

問 同僚議員の質問において、夏休み期間の午前中授業の際、施設メンテナンスのため給食の提供ができないとの答弁がありました。教育上も必要不可欠であり、保護者の負担軽減にもなる、栄養バランスが取れたおいしい給食をぜひ提供してほしい。このような市民の思いに寄り添うことを行政はやるべきだと考えますが、見解を伺います。

これは給食の問題だけでなく、石岡市の行政の進め方にもつながってくると思います。

また、児童生徒の通学に伴うスクールバスの運行について、夏休み期間の実施計画と対応について伺います。

答 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資する非常に重要なものであると認識しています。給食の提供については早くから議論してきましたが、安全管理上の観点から、休業中の点検などが必要であると判断したものです。今後も安心で安全なおいしい給食を提供していくためであり、ご理解いただきたいと思えます。

スクールバスの運行については、午前中に終了する授業日程に合わせ、各小中学校及び運行事業者との調整を行っていきます。

学校再開後は、子どもたちの健康と安全を第一に考え、一人一人に最大限に健やかな学びを保障するということに立って対応していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症 対策

市独自の支援策実施を



まさよし まつやま
小松 豊正

石岡市独自の対策をしてはどうかと考えますが、見解について伺います。



動画

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛を経て、社会活動の再開にあたり、急いで必要な支援を現場に届けることが重要だと考えます。まず、国の第2次補正予算に盛り込まれた事業者への家賃補助について、市でも独自に実施をしてはどうか。次に、国の持続化給付金の条件から漏れた事業者への市独自の中小企業等事業継続給付金の補正予算が計上されていますが、ほかの助成金や給付金も含め、他自治体で行っているような相談窓口を設置してはどうか。そのほか、他自治体の施策を生かし、例えば市出身学生に地元産の米、卵、野菜を送るなど、

答 家賃補助については、市内に家賃を負担している事業者がどれ程いるか把握していないため、事業者数を確認しながら早急に検討したいと思っています。相談窓口については、現在市内に社会保険労務士が11名おり、県社会保険労務士会が水戸市、土浦市、神栖市で相談窓口を開設していますが、他自治体の取組を参考に検討していきます。他自治体のプレス発表などにより施策が明らかになってきているので、各事例を研究しながら、本市の実情に合った効果的な事業を検討し、速やかに実施していきます。

その他の質問事項
●東海第2原発再稼働に対する新市長の見解
●地域医療対策 など



おかの たかお
岡野 孝雄

問 民生委員はなかなか担い手が見つからず、場所によっては欠員もあると聞きますが、本市の現状と対応を伺います。欠員のある地区に対し早めに民生委員を探すとともに、民生委員の仕事量の改善を考えていかなないと担い手がなくなってしまう。



動画

石岡市民生委員 担い手確保に向け負担軽減すべき

答 民生委員は仕事量が多く、相談内容も複雑多様化しています。今後多様な人材を活用するためには、負担の軽減や他の仕事をしながらでも活動ができるようにすることが大事であり、委員の実態や役割の重要性を広く

く知ってもらうことが欠かせないと思いますが、考えを伺います。

答 現在の民生委員の平均年齢は67歳ですが、70歳程度まではフルタイムで就業される方が増えており、仕事を理由にお断りされることが増えてきています。また、民生委員の活動は負担が大きいと感じている方も多く、現在6人の欠員が生じており、欠員が生じている地区は、隣接地区の民生委員・児童委員が受け持つなどの対応をしています。

問 民生委員・児童委員は地域福祉推進の一翼を担っており、市民が住み慣れた地域で安心して安全に暮らすためにはなくてはならない存在です。で、担い手不足の解消や負担の軽減にこれからも積極的に取り組んでいきます。

その他の質問事項
●中学校の登下校時における校門前の渋滞

合併特例債 上林・上曽線完成に向け事業見直しを



おの かつお
飯村 一夫

が、考えを伺います。

問 上林・上曽線は平成10年5月に都市計画道路として告示され、距離4.2キロメートル、合併市町村幹線道路緊急整備支援事業として合併特例債等を利用して整備を進めているところですが、事業完遂のスピード感が非常に遅いと思います。未着工区間の前島入口から八郷中学校までの1.7キロメートルをどのよう



動画

に完成させるのか。特例債事業を見直せば、地元からも期待を寄せられている都市計画道路が、県の補助金や交付税措置を考慮すると市の負担5000万円できると伺っています。早急に取りかかることに新市長のリーダーシップを期待します。

答 上林・上曽線の1期整備区間2.5キロメートルは、令和7年度までの合併特例債による事業認定を議会の承認をいただきながら進めており、2期整備区間である残り1.7キロメートルについては、今後事業化に向けて庁内の調整や議会への説明などを進めていきます。

また、合併特例債の新たな事業追加については、新市の一体性の確立や均衡ある発展という合併特例債の本旨は達成されつつありますが、近年の社会環境の変化に対応していくことも重要であり、必要な事業を見極め、発行可能な残額や財政状況等を勘案しながら検討していきます。

その他の質問事項
●県道にかかる県への要望事項

●議案第50号
石岡市国民宿舎つくばねを廃止する条例
滞在型観光施設の今後の展開



動画

石橋保卓

問 令和2年9月30日閉館としている国民宿舎つくばねは、施設の現状を鑑みるともっと早く閉館を決定すべきだったと考えますが、閉館に向けたこれまでの経過と現状について伺います。次に、ふれあいの森へ整備予定の新たな滞在型観光施設は、つくばねの代わりになり得るのか、また、さらなる施設拡充の考えはあるのか伺います。

石岡市の観光という部分も含め、滞在型観光施設のこれからの展開について、市長の考えを伺います。

答 国民宿舎つくばねは昭和49年7月のオープン以来、市民をはじめ観光客に親しまれてきましたが、施設の老朽化、現在のニーズとマッチしなくなってきたこと、昨年の台風被害によ

り安全安心なサービス提供が難しい状況であることなどから、今回条例廃止の提案をしたところで、現在リニューアルを進めているふれあいの森施設は、宴会等の代替機能はありますが宿泊機能を持ちませんが、展望台を備えたロッジ、利用者何れも持たずにキャンプを楽しむ施設、売店等の整備を予定しています。オープン後の利用者動向を踏まえ、拡充が必要な状況であれば事業計画や財源について検討しなければなりません。

ふれあいの森施設は、八郷地区の豊かな自然や里山文化だけでなく、歴史、史跡が数多く残る石岡地区にも足を運んでいただけ、満足を持って滞在いただける周遊観光拠点にしていきたいと思っています。近隣観光施設とも連携を図り、魅力発展の場として交流人口拡大と観光振興に取り組んでいきます。

●議案第50号
令和2年度石岡市一般会計補正予算（第4号）
補助金制度の周知徹底を



動画

小松豊正

問 中小企業緊急支援事業補助金4891万円の内容について、説明を求めます。

補助金交付にあたっては、細かい基準がないと平等性が保たれないと思いますが、誰が見ても納得できる実施要綱ができていますか伺います。また、事業者にとっては非常に切迫性があるので、なるべくスピーディーな手続と、制度の周知徹底を図ってもらいたいと思えますがいかがですか。

答 中小企業緊急支援事業補助金は、市内に主たる事業所を有する中小企業または個人事業者に対する補助金で、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が一定以上減少しながらも、感染予防のための仕切り板設置やデリバリー、テイクアウ

ト、テレワークなど、感染予防対策のための事業、危機的状況を乗り越えるための事業、事業継続のために取り組む事業を実施した場合に交付するものです。具体的には、令和2年1月から同年6月までのうち、1か月の売上が前年比で50パーセント以上減少した場合は補助率4分の3、80パーセント以上減少した場合は補助率5分の4で、上限額30万円を補助する制度を考えています。

実施要綱は、本補正予算の提案にあわせて作成中です。補正予算の成立後、早急に事業者へ補助していききたいと考えています。

その他の質問事項

●令和2年度石岡市一般会計補正予算（第5号）

過去の議会中継も見られます！～インターネット中継～

石岡市議会インターネット中継では、会期中の生中継映像だけでなく、過去の録画映像（平成31年第1回定例会以降）もご覧いただけます。

今号から、より多くの方に手軽にご視聴いただけるよう、一般質問・議案質疑の記事にQRコードの掲載を始めました。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末などでぜひご覧ください。



石岡市議会インターネット中継
<https://ishioka-city.stream.jfit.co.jp/>



ネット中継



記事に掲載されているQRコードを読み取ると、質問者・質疑者ごとの録画映像に直接アクセスできます。

※通信料は視聴者負担となります。通信料定額制等の加入契約をしていない場合はご注意ください。
この議会中継は、石岡市議会の公式記録ではありません。公式の記録は会議録をご覧ください。

常任委員会の活動

●石岡市議会には、3つの常任委員会が置かれています。各委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容を報告します。

●総務委員会

八郷総合支所の有効活用

5月19日開催の当委員会では、所管事務の調査として、八郷総合支所の有効活用について、図書館機能を中心とした施設の複合化について、本年度工事に向けた準備を進めており、今後、教育委員会とも協議を行い、より良い家具の選定やレイアウトの調整を行っていただきたいなどの説明がありました。

委員からは、利用者がもう一度行きたいと思うような、また、児童エリアなどに子どもを連れて、本を読ませたいなど、子育て中の世代が、ここに行つて本に親しみ、地域の中で、しっかり子育て

てができるような施設に

していただきたいとの意見や、近隣の図書館であったり、ほかの図書館なども参考に進めてほしいとの意見がありました。

また、6月15日に開催した委員会では、一般会計補正予算、条例の一部改正など付託された議案3件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。



●教育福祉環境委員会

信号機の設置を求める陳情の審査

6月12日開催の当委員会では、一般会計補正予算、条例の一部改正など付託された議案5件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

また、付託された「信号機の設置を求める陳情」は、石岡市上曽地内の市道B3755号線とフルーツライン及び県道石岡筑西線との交差点が、道路整備により交通量が増加し危険であるため、信号の設置を警察に要請するよう求めるものです。現地調査の後、委員から「現地を確認し、道路

の危険性を認識した。願意は妥当である」「人身事故等が複数件起きていることは大変残念であるし、一日も早く信号機を設置できるように要望していくべき」などの意見が出され、審査の結果、採択とすべきものと決しました。



▲陳情の現地調査

の一部変更、工事委託契約の締結について、工事請負契約の締結についてなど、付託された議案8件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。議案の審査終了後、補正予算として計上されていた中小企業等緊急支援事業について、委員より補足の質問をした旨の発言があり、許可を受け質問がなされました。内容は「当事業について、現段階で申請の様式やフォーマットはできているか」との質問で、執行部からは「予算が認められれば、受付が開始できるような内部で調整している」との答弁がありました。それを受け、委員からは「政府の助成金や支援金については、申請書面が難解、複雑な面がある。せつかくやるからには、制度を使う方にはわかりやすく、管理する行政側としては適正な判断ができるよう、しっかりと考え対応してほしい」との意見が出されました。

●経済建設消防委員会

中小企業等緊急支援事業

6月16日に開催した当委員会では、一般会計補正予算、公共下水道事業会計補正予算、石岡市国民宿舎つくばねを廃止する条例などの条例関係、指定管理者の指定について

編集後記

市民の皆様には、日頃より議会に対しましてのご理解とご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の中、石岡市長選挙が行われて、新市長が誕生しました。

谷島市長になって初めての定例会が開催され、過去最多の18名の議員が一般質問に立ち、市長の所信や市政一般について活発な議論がされました。インターネット中継をご覧いただきまして、関心を深めていただければと考えています。

今後も、市民の皆様のご意見を聞きまして、より身近な市議会を目指してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。(岡野孝雄)

議会広報委員会

委員長	村上 泰道
副委員長	石橋 保卓
委員	高野 要
委員	岡野 孝雄
委員	大和田寛樹
委員	新田 茜

